

## ☆はじめに☆

日ざしは明るくなってきたものの、まだまだ寒さの残る毎日です。いつもより春の訪れが待ち遠しく感じられますね。今年度も残すところあと1ヶ月となり、4月当初の子どもたちの姿を思い出しては、子どもたちの成長を改めて感じています。そんな感傷に浸っている我々とは裏腹に、子どもたちは「蒔田小学校に行くんだよ」「今度ミント組になるんだ！」と入学、進級への期待に胸を膨らませ、心待ちにしているようです。14日には卒園式があります。保育園の一番お兄さん・お姉さんとして頑張ってくれたミント組と過ごせるのもあとわずかです。お別れ遠足・お別れ会で一緒に過ごせる時間を楽しみ、たくさんの思い出を心に刻んで、新しい学年への第一歩を踏み出して行って欲しいと思います。

## ☆ある高校での最後の授業☆

廃校寸前に陥っていた熊本県の天草東高校をはじめ6校の校長を歴任し、次々と教育現場の改革を図ってきた熊本の名校長・大畑誠也氏のお話をご紹介します。「熊本の名校長・最後の授業」大畑誠也（九州ルーテル学院大学客員教授）

私が考える教育の究極の目的は「親に感謝、親を大切にすること」です。高校生の多くはいままで自分一人の力で生きてきたように思っている。親が苦労して育ててくれたことを知らないんです。これは天草東高時代から継続して行ったことですが、このことを教えるのに一番ふさわしい機会として、私は卒業式の日を選びました。式の後、三年生と保護者を全員視聴覚室に集めて、私が最後の授業をするんです。そのためにはまず形から整えなくちゃいかんと↑

↓ということで、後ろに立っている保護者を生徒の席に座らせ、生徒をその横に正座させる。そして全員に目を瞑らせてからこう話を切り出します。「いままで、お父さん、お母さんにいろんなことをしてもらったり、心配をかけたんだりしただろう。それを思い出してみろ。交通事故に遭って入院した者もいれば、親子喧嘩をしたり、こんな飯は食えんとお母さんの弁当に文句を言った者もおる……」そういう話をしているうちに涙を流す者が出てきます。「おまえたちを高校へ行かせるために、ご両親は一所懸命働いて、その金ばたくさん使いなさったぞ。そういうことを考えたことがあったか。学校の先生にお世話になりましたと言う前に、まず親に感謝しろ」そして「心の底から親に迷惑をかけた、苦労をかけたと思う者は、いま、お父さんお母さんが隣におられるから、その手ば握ってみろ」と言うわけです。すると一人、二人と繋いでいって、最後には全員が手を繋ぐ。私はそれを確認した上で、こう声を張り上げます。「その手がねえ！十八年間おまえたちを育ててきた手だ。分かるか。……親の手をね、これまで握ったことがあったか？おまえたちが生まれた頃は、柔らかい手をしておられた。いま、ゴツゴツとした手をしておられるのは、おまえたちを育てるために大変な苦労してこられたからたい。それを忘れるな」その上でさらに「十八年間振り返って、親に本当にすまんかった、心から感謝すると思う者は、いま一度強く手を握れ」と言うと、あちこちから嗚咽が聞こえてくる。私は「よし、目を開けろ。分かったや？ 私が教えたかったのはここたい。親に感謝、親を大切にすること、終わり」と言って部屋を出ていく。振り返ると親と子が抱き合っていて涙を流しているんです。……感動です。この話を、たくさんの方に読んでいただきたいと思います。日本中の学校の卒業式で、『最後の授業』が行われた時、日本の未来が変わるかもしれませんね。今日も熱くいきましょう！

## 行事予定

- 3 (火) ひなまつり
- 9 (月) 身体測定 (0~2歳児クラス)
- 10 (火) 身体測定 (3~5歳児クラス)
- 14 (土) 卒園式
- 17 (火) 避難訓練
- 18 (水) お別れ遠足・進級遠足
- 24 (火) お別れ会・修了式
- 25 (金) 誕生会

## ☆職員研修☆

- 5 (木) 定例継続研修 (北原)

## ☆行事関係の補足周知☆

- 卒園式 (14日)  
詳細は別途お知らせしたとおりですが、ミント組のみんなの卒園をオリーブ組のみんなが参加してお祝いします。土曜日ですが登園をお願いします。またオリーブ組の保護者の方も出席いただければ幸いです。
  - お別れ遠足 (18日)  
園児のみ参加する遠足です。ベリー、ラベンダークラスは近隣の散策を行います。ミント組はミント組で、他のクラスは少し遠方にお出かけします。お弁当の用意をお願いします。
  - お別れ会・修了式 (24日：10:00~)  
ホールにおいて、園児と保育士とで行います。当日は保育士から出し物のプレゼントがあります。
- ◇入園、進級式は4月1日(水)に行います。別途案内します。